



# フォレスターうじ 会報

第266号

令和3年4月1日 発行  
森林ボランティア  
フォレスターうじ

ホームページ : <http://foresuta-uji.o.oo7.jp>

## 令和二年度の活動を振り返って

会長 深田 和夫

三月二十一日今年度最後の活動を終えましたので、一年間を総括します。

まず活動日数ですが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、一回目の緊急事態宣言時は森林公園も閉鎖されたために総会の開催を延期するとともに、四、五月の定例活動を中止、二回目の宣言時も一月の定例活動を中止したため、定例活動が九回になりました。また特別活動でも外部の四イベントが中止されたために本会の活動をアピールする機会が少なくなつたことは残念でなりません。来年度は感染が収束し計画通りの活動が遂行できるように頑張って欲しいと願っています。

次に定例活動の内容と成果ですが、平成三十一年の台風二十一号の直撃で荒れた公園内を綺麗にするために「みんなの森を美しく 吾らは森の掃除人」を掲げて整備作業をしました。具体的には立場林道、こもれびの道、冒険の道及び野鳥観察小屋周辺の倒木や枯木の伐倒と積積みを実施。更にモミジの道入口の坂道に階段を新設する等、当初の目標は達成できたと総括します。

植樹・育樹に関しても、京都大作戦の森の整備にあたっては京都府立大学森林ボランティアグループ「森なかま」や京都森林インストラクター会のご協力で雑木の除去や各種の苗木を植樹することができました。今後の成長を見守る楽しみが増えたことは、来年度以降の活動の励みになると考えます。また植林活動を進めるための圃場を増設できたことも成果と判断します。

次に、会員数の動向ですが、退会者と高齢化とで要員不足で活動に支障が生じる恐れがあります。新会員を募集するための施策を種々考えていきますが、皆様もあらゆる機会を利用して会員獲得に取り組んでいただきますようお願いいたします。最後に、一年間安全に留意し活動を終えていただいたことに感謝します。お疲れ様でした。

## 三月定例活動

雨のため、当初の活動予定を取り止め

活動日 三月二十一日(日) 雨

活動時間 九時～十時三十分

活動場所 天ヶ瀬森林公園

参加者 会員九名

自由広場の桜はもうすでに五分から七分咲きだった。今年は例年と比べ特別に早く咲いて、会員を待っていてくれたのに、あいにくの雨である。

当初の活動予定の防鹿柵ネットの設置・工具の棚卸し・ドングリプロジェクト(苗木の移植)・他を全て変更し取り止めた。今月も京都府立大学森なかまの皆さん十一名が参加予定だったが、これも雨のため参加を見合わせてもらった。

深田会長の挨拶、木曾事務局長の事務連絡の後、フォレスターうじ広場の清掃と小屋内の整理などを行なった。

小林副会長の音頭で一部会員が「椎茸のほだ木」の様子を見に行つたところ、思いがけなく椎茸の収穫があった。参加した会員で分け合い、午前中で活動は終了した。

雨天の中を出席活動された皆様、ご苦勞様でした。

(記 水野 民雄)

## 三月特別活動

太陽が丘 ドングリプロジェクト

活動日 三月七日(日) 晴

活動時間 九時三十分～十四時三十分

活動場所 太陽が丘 遊びの森・周辺

参加者 会員七名

ゲスト 一家族(大人二名 子供三名)

公園管理センター南に集合した。ラジオ体操をしてから、道具を会長の車に載せて現場に向う。今回に植樹は、冒険の森ではなく、遊びの森の長い階段の北側のジグザグに下る緩い道周辺である。樹種は、アベマキ・クヌギ百三十本、ウバメガシ五十本、コナラ五十三本、マバシイ二本、空木一株、ホトトギス二十四本、柿三本で、柿は新宮会員が持参で、それ以外は、筆者宅で育てたものを持参した。

植え方は、一本、二本、巣植えなど色々であった。一本植えは五cm位の丸木の先端を尖らせそれを下に叩いて出来た穴に苗木を植えるのを試した。水場は遊びの森にあり、近くで良かった。昼食後の午後からも植え付けをした。

ゲストは、令和一年十月十四日の太陽が丘でのドングリプロジェクトに参加のボーイスカウト団員の家族でアベマキ・クヌギ・コナラを巣植えして帰えられた。時々見に来てねと伝えた。その時、スマホの写真でこれは何と小学生に聞かれたが、マンサク、雪柳、シダを答えられず、残念。

良い天気の中、十四時半に終了した。参加者の皆さんお疲れ様でした。

後日(十三日)に、クヌギ二十五本、雪柳三株、トチ三本を前記周辺に一人で植えた。私は見たことではないが、太陽が丘にも鹿がいるとの事なので、苗が食べられないように、成長してほしいと念じている。

(記 小林 清三郎)

(三月特別活動追記)

特別参加の親子(夫婦と子供三名)は、一昨年十月十四日の臨時活動「太陽が丘元気っ子生まれフェスティバル(ドングリプロジェクト)」に参加して、ポットにドングリを播いて持ち帰った子供とその親達だ。持参したポットには、十〜十五cmの苗が三本生育しており、それぞれにアベマキ、コナラ、クヌギの名札も立ててあった。種類の違うドングリを各一個ずつ播いて、それぞれがすべて発芽し育っているのは素晴らしい。

父親がクワで穴を掘り、上の男の子(小六)がスコップで土を出し、下の男の子(小四)が苗木を植えた。目印に名前等を書いた竹片を立てて終了する。ドングリが生長するのを楽しみに、時々見に來たいと言っていた。このような人達がたくさん来てくれるようになってほしいのだが。

(記 栗津 國雄)



3/21 天ヶ瀬森林公園  
自由広場 雨の中の桜  
写真提供 水野民雄



3/21 椎茸がたくさん  
実っているほど木  
写真提供 水野民雄

エッセイ

まさかのダニ?

新宮 邦春

二〇二〇、九、二十、当会活動中、ダニに刺咬された。恐らく昼からの作業だと思われるが、帰宅後着替えた時、右太腿に約5mmの黒い物体を発見。葉っぱの破片か小枝の樹皮片の様だったので手でサッと払うが除去出来ず、指でつまむと難なく外れた。まさか!ダニ? マダニで有ればどうしよう!! 私の寿命もあと僅か、と不安が脳裏をよぎる。痛くも痒くも無い、長ズボン・長袖シャツに帽子、ハイカットの登山靴、枯れ枝でシダ・エゴマ等の露払いをしながら作業していたのに、何時・何処で何処から?

直ぐにリムーバーで(蜂などに刺された時、毒を吸引する注射器状の器具)刺咬口から毒素を吸引し、消毒とリンデロンV Gを塗布。その後保健所に事情を説明、虫刺されでは救急車は呼べませんと事務的対応に辟易しつつも、休日夜間診療病院を教えて貰った。受付と検温を済ませ、後から診察に來た人々が先に案内され、次々と部屋に消えて行く。病院までの運転中や、呼び出されるまでの長〜い待ち時間もアナフィラキシーが思い浮かぶ。ようやく先生と対面。経緯と手前勝手な民間療法を行なった事を伝え、持参した「ダニ」を見せる。先生曰く「何という虫か分かりませんが、お薬をお持ちなので出しません、症状が悪化したら來て下さい」と素っ気ない返事。この程度で来てほしくないのか、まあそれだけ大した事無いのか、少々不安の中精算を済ませた。

数ヶ月前安全講習を受けたばかりで情けない限りである。靴下の中に裾を入れる等、長ズボンでも裾締め、スパッツの装着が必須。ネットによると防虫スプレーに含まれる「ディート」という成分を嫌うので有効かと。こちらも今後励行したい。御陰様で今でも「つつ

がなく」しぶとく生きて居りますが、皆様も他人事と思われず御用心あれ。

今後の活動・行事の案内

令和三年五月以降の予定です。当月の定例活動の詳細は、当月の「活動案内」でお知らせします。

五月定例活動

五月十六日(日) 天ヶ瀬森林公園

・天ヶ瀬森林公園の実態調査

・天ヶ瀬森林公園の森林整備

会員動向

退会

池田福代 小野典子 梶村健 澤輝男 中垣幸男

松本喜芳

後援会員に変更

真庭恒夫

後援会退会

木村定俊 福島文雄 森川利幸

フオレストアージュからのお知らせ

新しい仲間を募集中、先ずは一日体験から参加して下さい。

入会金 千円 年会費 二千元

活動日 毎月第三日曜日

活動場所 天ヶ瀬森林公園

森林ボランティア「フオレストアージュ」事務局

宇治市折居台二丁目一―五

木曾 宗統 方

☎〇九〇―九二七〇―〇七六三

(会報担当 木曾 宗統)  
(写真担当 林 幸広)